

令和5年度 滋賀県文化賞等受賞者

滋賀県文化賞

芸術文化（美術） 濱田 弘明

滋賀県文化功労賞

郷土文化（文化財） 高橋 利明

郷土文化（伝統芸能） 特定非営利活動法人大津祭曳山連盟

芸術文化（音楽） フィガロホール

滋賀県文化奨励賞

芸術文化（美術） 奥田 誠一

芸術文化（美術） 川合寺町桜画展開催委員会

芸術文化（ネイルアート） 日下部 裕子

滋賀県次世代文化賞

芸術文化（音楽） 横井 茂虎

文 化 賞



はま だ ひろ あき
濱 田 弘 明

芸術文化（美術）

昭和35年生 高島市

大学在学中から吉原治良賞美術コンクール展やリュブリアナ国際版画ビエンナーレなど、国内外の数多くの展覧会に作品を発表し、各美術館に作品収蔵されている。その内容は従来の版画形式に留まらず、写真やPCによるデジタル作品、空間に展開したインスタレーション作品など、次元を飛び越え、自由に行き来する中での空間の「ずれ」を考察する作品を制作。美術・版画の分野において高い評価を受けている。

現在、嵯峨美術大学で教鞭をとり、後進の育成に尽力し版画家やアーティストを多数輩出。

文化功労賞

たか はし とし あき
高橋利明

郷土文化（文化財）

昭和24年生 大津市



仏像などの日本彫刻多数を、本格的な文化財修理の技術でよみがえらせてきた。

日本における彫刻文化財の修理を一手に引き受ける美術院で経験を積み、滋賀県において独立した組織的な工房を設立、県内外で極めて多くの仏像修理に携わってきた第一線の修復技術者であり、本県の仏像の修理に最も通暁した技術者である。

京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）非常勤講師、特定非営利活動法人文化財保存支援機構セミナー講師、京都美術工芸大学客員教授等として文化財修理について講じるなど、後進育成や一般向けの教育にも熱心に取り組む。

とく てい ひ えい り かつ どう ほう じん おお つ まつり ひき やま れん めい
特定非営利活動法人大津祭曳山連盟

郷土文化（伝統芸能）

昭和29年設立 大津市

昭和29年に大津祭曳山連盟として組織、平成16年にNPO法人化。

大津祭の伝統と文化を継承すると共に、古都大津の祭文化を広め、貴重な観光資源として多くの市民に関心を持ってもらい、大津祭の運営に理解と協力を求める活動を通じて、地域社会全体の利益の増進に寄与することを目的に活動を展開。

また、大津祭曳山展示館の運営、「大津まちなか大学」での講座など、歴史や伝統文化を継承するための取り組みにも尽力。

昭和57年滋賀県文化奨励賞受賞。（「大津祭の曳山行事」は平成28年国重要無形民俗文化財に指定。）



フィガロホール

芸術文化（音楽）

平成10年設立 大津市

ヨーロッパでは小さな街にも100席ほどの小ホールがあり、音楽が人々の暮らしに溶け込んでいる環境に触れ、「身近に楽しめる音楽ホールを大津に」との思いで1998年に開館し、本年度25周年を迎えた。

滋賀ゆかりの演奏家達のリサイタルやコンサートに対しては、積極的にホール提供やバックアップをしている。滋賀音楽振興会副会長や滋賀発のオーケストラ「近江シンフォニエッタ」の結成にも一役を買って出るなど、ホールの枠から飛び出したスケールの大きな活動にも注目されている。

また、貸館として100席という規模は、プロはもちろんアマチュア、子ども達の音楽発表会などにも使いやすく、地元の音楽愛好家たちにも長く愛されている。

文化奨励賞

おく だ せい いち
奥 田 誠 一

芸術文化（美術）
昭和37年生 東近江市



昭和60年から平成31年まで県内の中学校や高校において教員として勤務する傍ら、主に立体作品の制作・発表に精力的に取り組んできた。これまで県内外において数多く個展を開催するとともに、公募展においては大賞・特選を多数受賞。ここ2年間で、公募展において5つの大賞、また、難易度の高い公募展での入賞・入選も多数。また、数々のグループ展に招待作家として参加するなど、専門家からの評価も高い。

全国区で長年にわたって優れた業績をあげており、今後も継続して活躍を期待される。

かわ い でら ちょう さくら が てん かい さい い いん かい
川合寺町桜画展開催委員会

芸術文化（美術）
平成15年設立 東近江市

同町出身の画家、織田^{しつしつ}瑟々は、織田信長の9男信貞の末裔で江戸時代文化・文政期に桜画の名手として活躍したが、その作品と存在は長く埋もれていた。東近江地域の誇りである織田瑟々を広く知ってもらうために、平成15年から毎年春に桜画展を開催し織田瑟々の顕彰を続けている。併せて、研究者や学芸員を招き、桜画をはじめとした近世絵画史をテーマに講演会を開催。鑑賞機会等の創出を通じて、地域文化の振興とまちづくりに寄与している。



く さか べ ゆう こ
日下部 裕 子

芸術文化（ネイルアート）
昭和53年生 大津市



ネイルアーティストとして、サロンワークとスクール講師を両立しながら、毎年、国内外の多数のコンテストにおいて数々の賞を受賞し、顕著な成績を収めている。アジアネイルフェスティバルイン大阪2022のアジアカップにおいては、琵琶湖をモチーフにした滋賀県愛に溢れるデザインの芸術性を高く評価され、チャンピオンを受賞。

また、京都美容専門学校の講師として、ネイリストの指導に積極的に取り組み、後進の育成にも尽力している。

次世代文化賞



よこ い しげ とら
横井茂虎

芸術文化（音楽）
平成14年生 ドイツ

滋賀県湖南市出身。

平成29年、全日本学生音楽コンクール全国大会 中学校の部において優勝し一躍注目を集める。翌年、公益財団法人平和堂財団芸術奨励賞を最年少で受賞する。

高校進学後も、平成30年に第24回びわ湖国際フルートコンクール ジュニア部門第2位および朝日新聞社賞、京都新聞社賞を受賞。平成30年、第19回フルートコンヴェンションin福岡ではソロ部門のセミファイナリストとなる。

令和2年、第73回全日本学生音楽コンクール大阪大会 高校の部で第1位、同全国大会では横浜市民賞を受賞。

これまでに、松山克子、若林かをり、神田寛明、竹林秀憲、瀬尾和紀、知久翔の各氏に師事。現在はドイツのフライブルク音楽大学へ留学し、マリオ・カロリーのクラスで研鑽を積み、国際コンクールでも実績を挙げ、今後の活躍が大いに期待される。